ジャンル
書店論・書誌学

寿郎社の新刊案内

〒060-0807　札幌市北区北七条西2丁目37山京ビル
電話011-708-8565　FAX011-708-8566
メール：info@jurousha.com　サイト：www.jurousha.com

米軍潜水艦が出没する海を渡り樺太までセドリにいく猛者がいた。廃棄寸前の朝鮮総督府払下げ品をどっさり買い込む目利きがいた――。現役の古書店主が執念で調べ上げた〈外地〉の古書店事情と〈内地〉とのネットワーク。

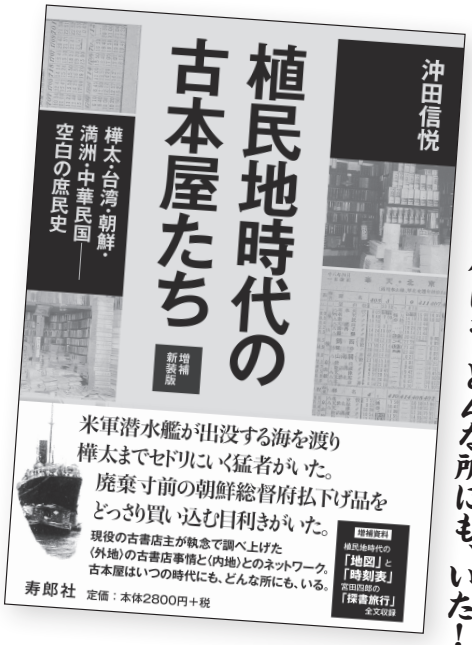
古書業界を騒然とさせた初版刊行から18年――植民地時代の地図と鉄道路線図・時刻表などを増補した読書子待望の「新版」が遂に刊行！

植民地時代の古本屋たち

増補新装版

樺太・台湾・朝鮮・満洲・中華民国――空白の庶民史

沖田信悦
OKITA Shinetu



古本屋はいつの時代にも、どんな所にも、いた！

2025年 10月下旬刊

A5判上製　256頁（予定）
定価：本体**2800**円＋税（税込3080円）
ISBN978-4-909281-73-9　C0000

主な内容

［増補新装版］刊行にあたって　沖田信悦
［初版］はじめに
［増補資料］植民地時代の地図と時刻表

第一章　樺太へ渡った古本屋たち
樺太古書籍商組合の入会状況／豊原の古書店／1936年（昭和11年）の古書市全道大会／真岡の古書店／大泊の古書店／恵須取と塔路の古書店／敷香の古書店／樺太の新刊雑誌屋／終戦一年前の状況／古書店主が見た樺太／全国古書籍統制組合及施設組合一覧

第二章　台湾へ渡った古本屋たち
台北の書物蚤の市／台北古書籍商組合／台北市の古書店／昭和16年ころの状況／三省堂と東都書籍と日配

第三章　朝鮮へ渡った古本屋たち
昭和6年の朝鮮古書業界／京城の古書店／朝鮮古書店に触れた記事から／平壌の古書店／釜山の古書店／大邱の古書店／新義州の古書店／朝鮮の古書籍商組合と京城書物同好会／満鮮山東の旅

第四章　満洲へ渡った古本屋たち
ツブシと東京巌松堂／満洲における古本屋の進出拠点／満洲各地の古書店たち／大連の古書店／奉天の古書店／新京の古書店／安東の古書店

第五章　中華民国へ渡った古本屋たち
昭和一四年ころの上海／中華民国維新政府と三通書局／共同租界地と内山書店／北京で活躍した古書店主／関西から渡った人々

第六章　総集編
東京巌松堂と大阪屋号書店／交換本商法／引き揚げ時の苦労

［増補資料］新宿の古本屋・宮田四郎の昭和18年の「探書旅行」全文と京城・一誠堂の加藤澄男のエッセイ
宮田四郎　沖縄から臺灣へ――終戦前の思い出／探書旅行――支那から滿州へ／探書旅行――支那から滿洲へ／探書旅行――樺太の巻
加藤澄男　朝鮮古書界の思い出

［初版］あとがき
参考文献
［初版］解説　海の向こうの古書ネットワーク　西原和海

沖田信悦（おきた・しんえつ）
1946（昭和21）年、新潟県東蒲原郡鹿瀬町向鹿瀬の昭和電工社宅にて生まれる。1964年、県立津川高校（現・阿賀黎明高校）卒業。1969年、明治大学文学部卒業。現在、船橋市で鷹山堂（古書店）経営。POW研究会会員。1996年3月『千葉県古書籍商組合略史』、1997年10月『琥珀色の彼方―鹿瀬町とハーモニカ長屋』刊行。
鷹山堂：千葉県船橋市新高根3-5-5（〒274-0814）

＊本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊配本はありません。必ず事前のご予約（ご注文）をお願いします。

寿郎社FAX011-708-8566まで

〔注文短冊〕

地方小出版流通センター取扱品

発行所	編著者名	本体価格（税抜）	発注日
寿郎社	沖田信悦 著	2800円	月　日

書店名（番線）

御担当者名

注文数　冊

［新刊］
植民地時代の古本屋たち
樺太・台湾・朝鮮・満洲・中華民国――空白の庶民史
〈増補新装版〉
ISBN978-4-902281-73-9